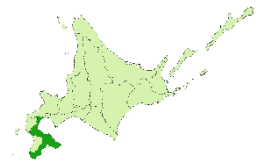


01	「北の縄文」魅力発信・ファン拡大推進パワーアップ事業	カテゴリー	地域資源
		関連するSDGsのゴール	  
02	「食彩王国南北海道」スパイラルアップ事業	カテゴリー	産業振興、担い手確保・育成
		関連するSDGsのゴール	 
03	渡島の多様性を活かした”次世代を支える農業労働力確保”推進事業	カテゴリー	農林水産業、担い手確保・育成
		関連するSDGsのゴール	 
04	おしまスタイル・都市と農山漁村バトンリレー事業	カテゴリー	農林水産業
		関連するSDGsのゴール	  
05	みんなで拓げる木づかいプロジェクト！	カテゴリー	ゼロカーボン、担い手確保・育成、農林水産業
		関連するSDGsのゴール	  
06	ブリの活用連携促進事業	カテゴリー	ゼロカーボン、産業振興、農林水産業、教育
		関連するSDGsのゴール	   
07	渡島管内漁業就業対策事業	カテゴリー	担い手確保・育成
		関連するSDGsのゴール	 
08	移住・定住促進に向けた地域の魅力発信事業	カテゴリー	移住・交流
		関連するSDGsのゴール	 
09	「みなみ北海道まるっと周遊」観光地域づくり強化事業	カテゴリー	産業振興
		関連するSDGsのゴール	  
10	訪日外国人向け環境整備・集客プロモーション事業	カテゴリー	産業振興
		関連するSDGsのゴール	 



01 「北の縄文」魅力発信・ファン拡大推進 パワーアップ事業

カテゴリー 地域資源



映画「掘る女」上映会&77タークの様子

事業概要（令和2年～令和6年）

令和3年7月に世界遺産登録となった「北海道・北東北の縄文遺跡群」について、地元の関係機関と連携し、「北の縄文ファン」拡大に向けた取組を一層強化するとともに、地域の貴重な財産である縄文遺跡・縄文文化を次世代へ継承するための事業を展開します。

● 令和4年度の主な実績

地域住民の縄文文化への理解促進や「北の縄文ファン」の拡大に向けて、公共施設などでパネル展を実施したほか、「DOKI!DOKI!JOMON EXPO」や映画上映会等の世界遺産登録一周年記念事業を実施しました。

また、博物館や郷土資料館を巡るスタンプラリーを実施し、縄文関連展示施設への来訪促進を図りました。

関連するSDGsのゴール



02 「食彩王国南北海道」スパイラルアップ 事業

カテゴリー 産業振興、担い手確保・育成



道の駅等個別商談会

事業概要（令和2年～令和6年）

道南地域の独自性優位性のある食の魅力向上をさらに図るため「つなぐ・つくる・かせぐ」をキーワードに「地域内連携」を促進し、食彩王国南北海道ブランドの確立や販路拡大・高付加価値化のほか、ポストコロナに向けた取組や、道南地域のワイン産地化に向けた人材育成に取り組んでいます。

● 令和4年度の主な実績

身近な地域製品の売場である道の駅等で地元事業者の販路拡大を図る「道の駅等個別商談会」の開催、コロナ禍による顧客ニーズ・市場の変化への対応を支援する専門家派遣事業を実施しました。

道南地域のワイン産地化に向けた「道南ワインアカデミー」、商品の販路拡大に向けた相談商談会「道南食のブランドフェア2022」等を開催しました。

関連するSDGsのゴール



03 渡島の多様性を活かした”次世代を支える農業労働力確保”推進事業

カテゴリ

農林水産業、担い手確保・育成



お試しノウフクの作業状況

事業概要（令和2年～令和6年）

人口減少に対応した農業スタイルを確立するため、スマート農業の普及推進による地域農業の効率化・高度化や多様な人材との連携による労働力確保の取組を進めています。

ドローンによるながねぎの生育診断、トマトの環境制御栽培等の実証試験及び先進地の視察を実施し、あわせて、新規就農者の受入体制整備や農福連携による労働力補完に向けた取組を推進しています。

● 令和4年度の主な実績

スマート農業の先進地調査や普及に向けたセミナーを開催しました。

新規就農希望者に対して、お仕事相談会や農業体験ツアーを実施するとともに、農福連携の推進に向けて関係者と勉強会を実施しました。

関連するSDGsのゴール



04 おしまスタイル・都市と農山漁村バトンリレー事業

カテゴリ

農林水産業



教育旅行受入の実態調査

事業概要（令和2年～令和6年）

北海道新幹線の開業や歴史文化、食べ物など管内の豊富な地域資源を活かし、体験観光や教育旅行等による周辺農・漁村部への入り込みを各団体と協力し推進しています。

修学旅行生や観光客の受け入れを希望する生産者を振り起こすとともに、農村ツーリズム関連のセミナー等を開催することにより、地域での受入体制を整えるほか、有機農業の推進による農産物の高付加価値化や地産地消の取組も進め、地域農業・農山漁村の活性化を目指します。

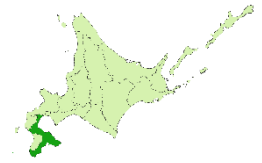
● 令和4年度の主な実績

農泊に取り組んでいる農家を対象にした実態調査を実施しました。

市町・関係機関を対象とした食育セミナーを開催したほか、一般消費者に対して、有機農業や地元農産物のPRを実施しました。

関連するSDGsのゴール





05 みんなで拡げる木づかいプロジェクト！

カテゴリ

ゼロカーボン、
担い手確保・育成、農林水産業

事業概要（令和2年～令和6年）

林業・木材産業の理解醸成を図り、道南スギなどの地域産の木材の利用を広げるため、学生等に地域材を活用したまちづくりのデザインを学ぶ場を提供するほか、商業施設における地域材普及PRを進めるなど、地域に根ざしたブランド化に向けた取組を異業種・学生・地域住民と連携して行います。

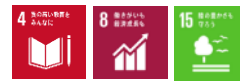


学校木質化プロジェクト(北海道森高等学校)

● 令和4年度の主な実績

地域材の利用に対する理解を深めるため、高校や小学校で木製品等のデザインや製作を学ぶワークショップを開催したほか、商業施設等と連携した木育イベントを開催しました。

関連するSDGsのゴール



06 ブリの活用連携促進事業

カテゴリ

ゼロカーボン、産業振興、
農林水産業、教育

事業概要（令和2年～令和6年）

近年渡島管内では、海洋環境の変化などにより、ブリが大量に漁獲されていますが、ブリは道民には馴染みが薄く食文化もほとんど無いため、道内の消費量は全国に比べ低迷しています。

このため、振興局では関係機関と連携し、ブリの消費拡大に向け、ブリの食べ方のPRや新商品、新メニューの開発に取り組んでいます。



ブリを使用した料理教室の様子

● 令和4年度の主な実績

函館水産高校と連携しブリのフレーク製品の試作に取組み、専門学校生によるブリのレシピづくりへの支援や同生徒によるブリの水揚げ見学を実施しました。

市内の小中学校給食へのブリメニューの提供や一般消費者へのブリの料理教室の開催、機能性成分含有量（管内ブリのDHA・EPA）の測定などの各種取組を実施しました。

関連するSDGsのゴール



07 渡島管内漁業就業対策事業

カテゴリー

担い手確保・育成



漁業者と就業希望者との面談の様子

事業概要（令和2年～令和6年）

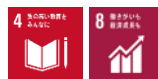
国内・道内における労働者不足の影響により、渡島管内においても、漁労作業員や乗組員等、漁業就業者不足が懸念されており、漁業を安定的に継続していくことが困難な状況となっているため、地域の実情に見合った漁業就業者の確保・育成に取り組んでいます。

● 令和4年度の主な実績

漁業の担い手相談会（令和4年10月）には、4名が来庁し、漁業就業に関する情報提供を行いました。

漁業就業フェアinはこだて（令和5年3月）を、漁業関係3団体（コブ養殖業1・杓がイ養殖業2）の参加により実施した結果、3名が来場し、うち1名のマッチングが成立しました。マッチングした1名は、令和5年5月からコブ養殖業への長期研修に参加しています。

関連するSDGsのゴール



08 移住・定住促進に向けた地域の魅力発信事業

カテゴリー

移住・交流



北海道移住・交流フェアの様子

事業概要（令和2年～令和4年）

渡島地域における移住・定住等をさらに促進するため、管内市町と連携の下、首都圏で開催するイベントで地域の魅力を発信するとともに、地元の若年層を巻き込みながらSNS等を活用して渡島の魅力を広範に発信することで、若年層の定着の促進、新たな渡島ファンの拡大につなげていきます。さらに、都市部から地域への移住を視野に、地域に居住して地域活性化に取り組む地域おこし協力隊の活動を支援し、渡島管内における移住・定住の取組の活性化を図ります。

関連するSDGsのゴール

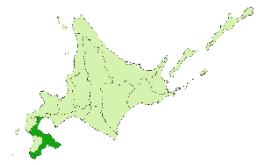


● 令和4年度の主な実績

首都圏では、東京都で開催された「北海道移住・交流フェア」に出展したほか、移住個別相談会を開催しました。

オンライン移住セミナーを2回開催、また、移住者座談会のYouTube配信を行いました。

地域おこし協力隊の活動支援では、八雲町ペコレラ学舎で研修会を開催しました。



09 「みなみ北海道まるっと周遊」観光地域づくり強化事業

カテゴリー 産業振興



DOKI! DOKI! JOMON EXPO in テーオーデパートに出展し、観光PRを実施した時の様子

事業概要（令和2年～令和6年）

縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されたことから、この機を逃さず誘客効果を管内エリア全体に広げるため、管内周遊ルートの情報発信を核とした取組を展開します。

● 令和4年度の主な実績

縄文を絡めた観光周遊ルートに掲載した「渡島縄文周遊ガイド」を作成し、各種イベントで、縄文や管内の観光PRを実施しました。また、管内の歴史や文化、自然などの魅力を生かし、道外から渡島管内への教育旅行の誘致に取り組みました。

関連するSDGsのゴール



10 訪日外国人向け環境整備・集客プロモーション事業

カテゴリー 産業振興



インバウンド商談会 (VISIT JAPAN TRAVEL & MICE MART) の会場の様子

事業概要（令和2年～令和6年）

観光施設や宿泊施設等の受入環境整備を進めると共に、世界文化遺産登録された縄文文化をはじめとした歴史や文化をPRし、インバウンド需要回復に向けた取組を展開します。

● 令和4年度の主な実績

インバウンド対応のアドバイザーの派遣や、中国語ガイド人材育成研修を行い、受入環境の整備を行いました。また、インバウンドの商談会に出展し、外国の旅行会社に縄文文化をはじめとした観光PRを実施しました。

関連するSDGsのゴール

